



証券コード6859

エスペック株式会社

2012年3月期決算説明会

2012年5月24日

www.espec.co.jp

目次

事業概要

2012年3月期決算 概要

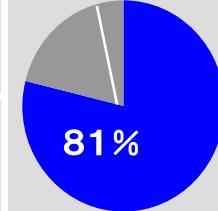
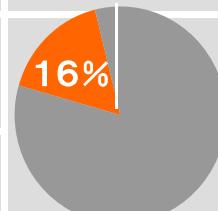
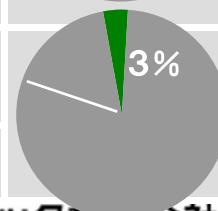
2012年3月期決算 セグメント別分析

2013年3月期 通期計画

中期経営計画 プログレッシブ プラン2013 2年目

参考資料

各事業の市場／用途

		主要製品	市場	用途	売上構成比 12/3期
装置事業	環境試験器	<ul style="list-style-type: none"> ・恒温恒湿器 ・冷熱衝撃装置 ・小型環境試験器 ・恒温恒湿室 ・複合試験機 ・HASTチャンバー 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子部品、 電子機器市場 ・自動車市場 ・半導体市場 ・医薬品、化粧品、 食品等 	<ul style="list-style-type: none"> ・R&D用 ・信頼性評価用 ※「生産・検査」にも 一部使用 	
	エナジーティライズ装置	<ul style="list-style-type: none"> ・充放電サイクル評価装置 ・電極乾燥装置 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子部品、 電子機器市場 ・自動車市場 	<ul style="list-style-type: none"> ・生産用 ・R&D用 ・信頼性評価用 	
	半導体関連装置	<ul style="list-style-type: none"> ・バーンイン装置 ・半導体評価装置 ・計測システム 	<ul style="list-style-type: none"> ・半導体市場 ・自動車市場 	<ul style="list-style-type: none"> ・生産用(検査) ※計測は開発・評価 	
	FPD関連装置	<ul style="list-style-type: none"> ・枚葉式クリーンオーブン ・低酸素500°Cクリーンオーブン 	<ul style="list-style-type: none"> ・LCD市場 ・有機EL市場 	<ul style="list-style-type: none"> ・生産用 (アニール・ペーク・乾 燥) 	
サービス事業	アフターサービス・ エンジニアリング	<ul style="list-style-type: none"> ・アフターサービス ・機器周辺工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・半導体市場 ・FPD市場 ・自動車市場 	—	
	受託試験・ レンタル	<ul style="list-style-type: none"> ・受託試験 ・リセール ・機器レンタル ・校正 	<ul style="list-style-type: none"> ・通信市場 	<ul style="list-style-type: none"> ・R&D用 ・信頼性評価用 	
その他事業	環境エンジニアリング	森づくり、水辺づくり、都市緑化			
	新規事業	植物工場、将来の収益源となり得る新たな事業の開発・創造			



2012年3月期 決算概要

決算総括

主要顧客の設備投資の回復により、増収・増益

P/L

- スマートフォン・二次電池関連市場の積極投資の継続と、電子部品・機器および自動車メーカーなどの堅調な開発投資により、受注高・売上高が増加
- 円高により輸出が減少したものの、海外子会社の業績は好調
- 固定費が増加するも増収と原価率改善により、利益が大幅に増加

B/S、C/F

- 受取手形・売掛金の増加により、総資産は約7億円増加
- 純資産・総資産とも増加し、自己資本比率は、2.4ポイント増加し74.8%
- 財務CFの影響により、資金は約1億9千万円の減少

配 当

- 1株当たり 中間5円、期末は増配し13円(予定)、年間18円の配当

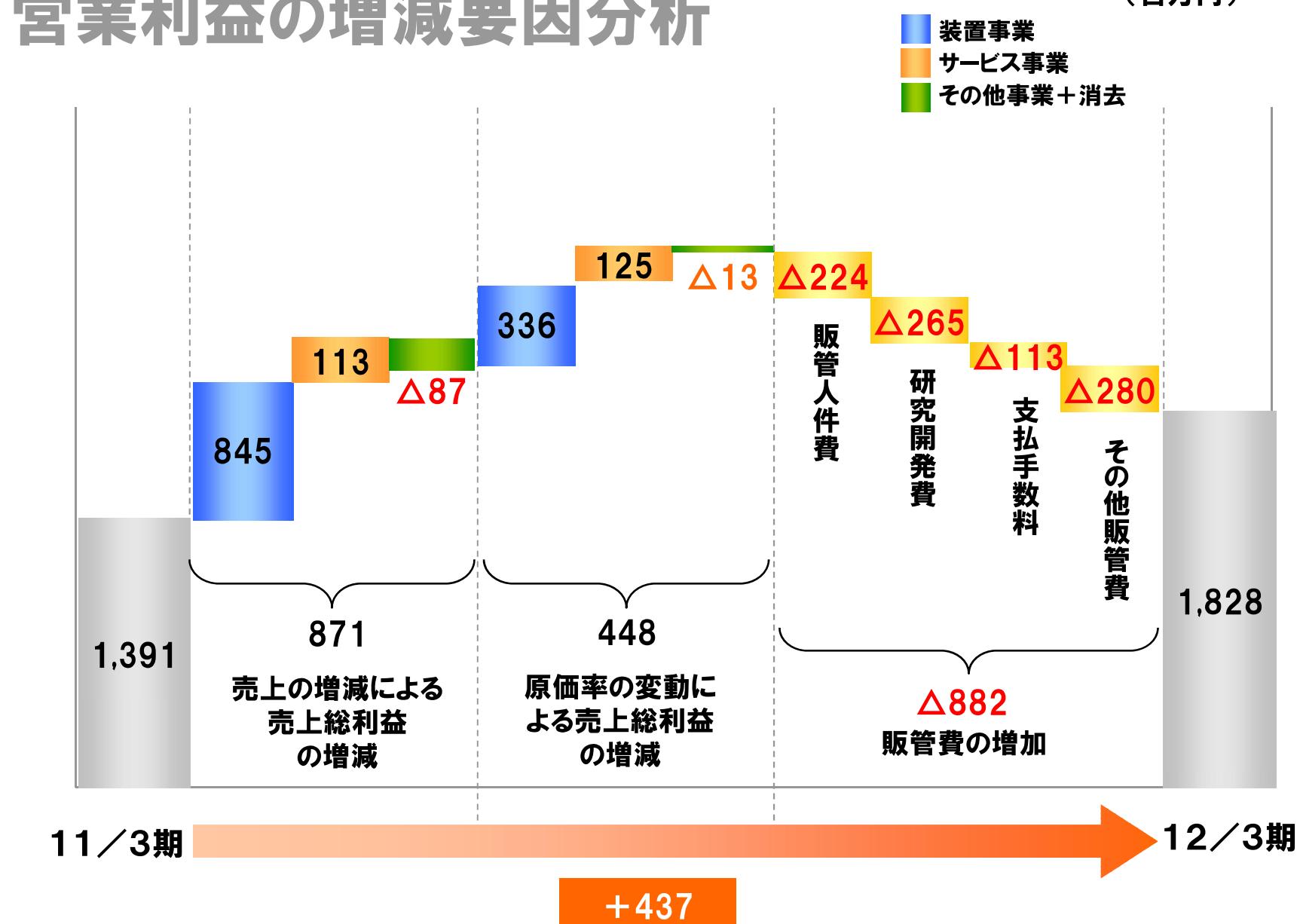
損益の状況

(百万円)

	2011/3期	構成比	2012/3期	構成比	前期比
売上高	29, 589	100. 0%	31, 906	100. 0%	7. 8%
売上原価	20, 370	68. 8%	21, 367	67. 0%	4. 9%
売上総利益	9, 219	31. 2%	10, 538	33. 0%	14. 3%
販管費	7, 827	26. 5%	8, 710	27. 3%	11. 3%
営業利益	1, 391	4. 7%	1, 828	5. 7%	31. 4%
営業外収益	357	1. 2%	318	1. 0%	△10. 9%
営業外費用	64	0. 2%	69	0. 2%	8. 0%
経常利益	1, 683	5. 7%	2, 076	6. 5%	23. 3%
特別利益	63	0. 2%	21	0. 1%	△66. 1%
特別損失	85	0. 3%	40	0. 1%	△53. 1%
税金等調整前 当期純利益	1, 661	5. 6%	2, 057	6. 4%	23. 9%
当期純利益	1, 654	5. 6%	1, 929	6. 0%	16. 7%

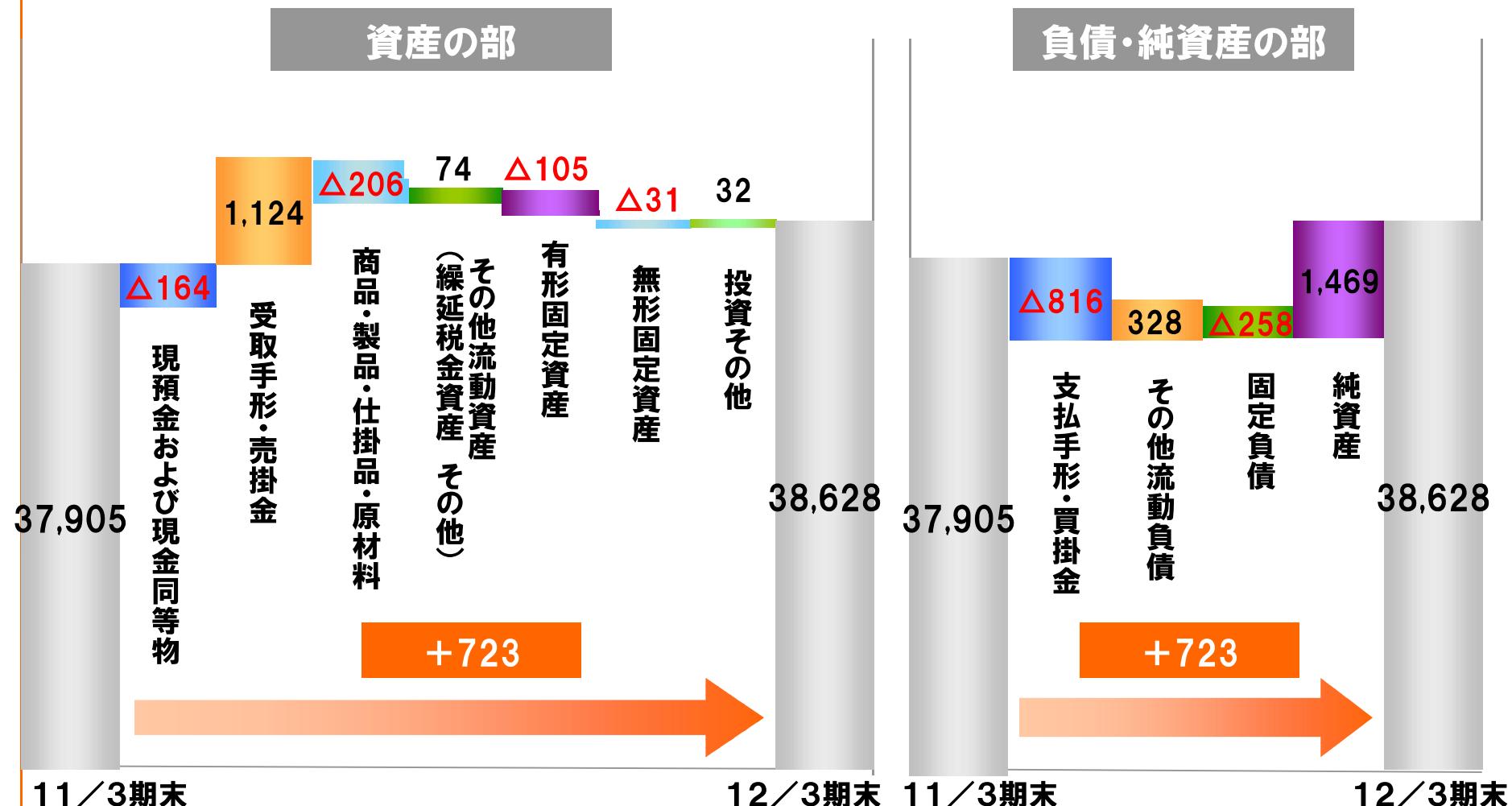
- 主に装置事業の環境試験器の貢献により、売上高は増加
- 販管費は増加したものの、売上高の増加に加え、内製化と原価改善活動などにより、利益が大幅に増加

営業利益の増減要因分析



資産・負債の増減要因分析

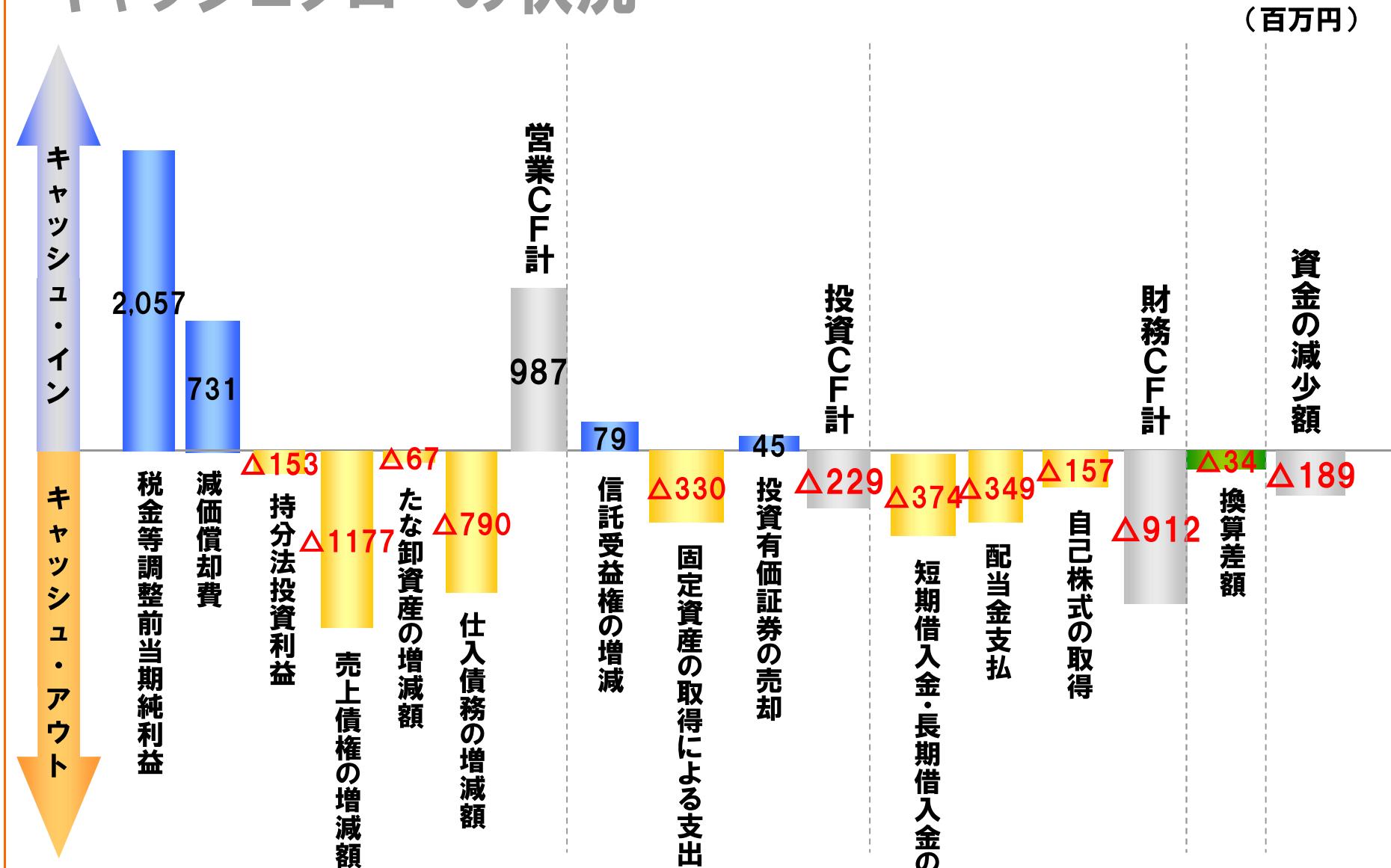
(百万円)



■受取手形・売掛金などの増加により、総資産は約7億円増加

■自己資本比率は、純資産・総資産のいずれも増加し、2.4ポイント増加の74.8%

キャッシュフローの状況





2012年3月期決算 セグメント別分析

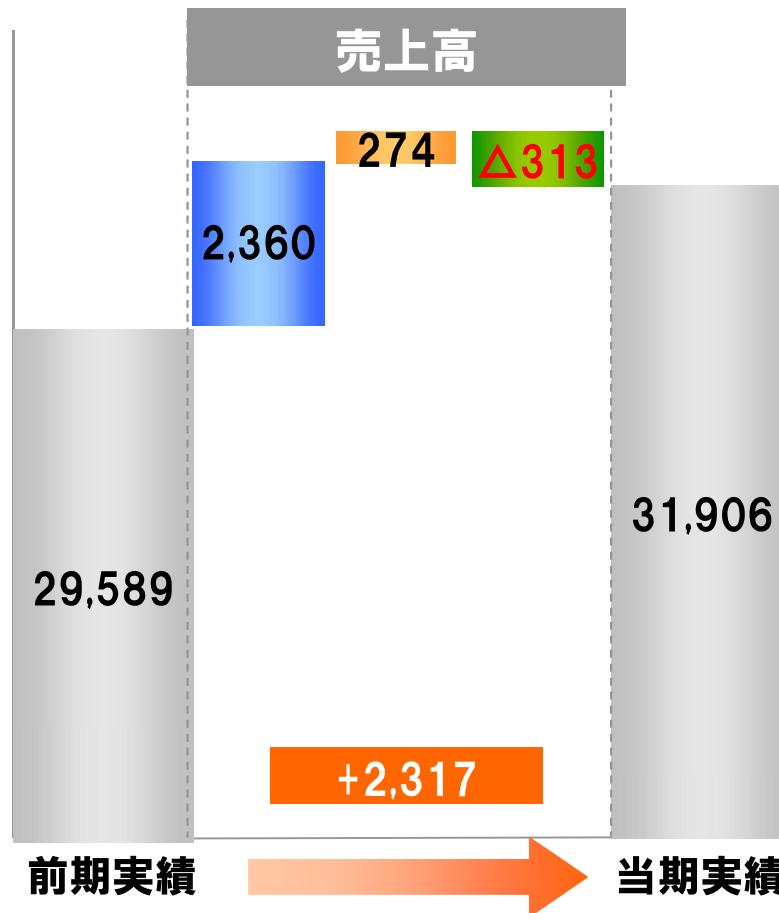
セグメント別の状況

(百万円)

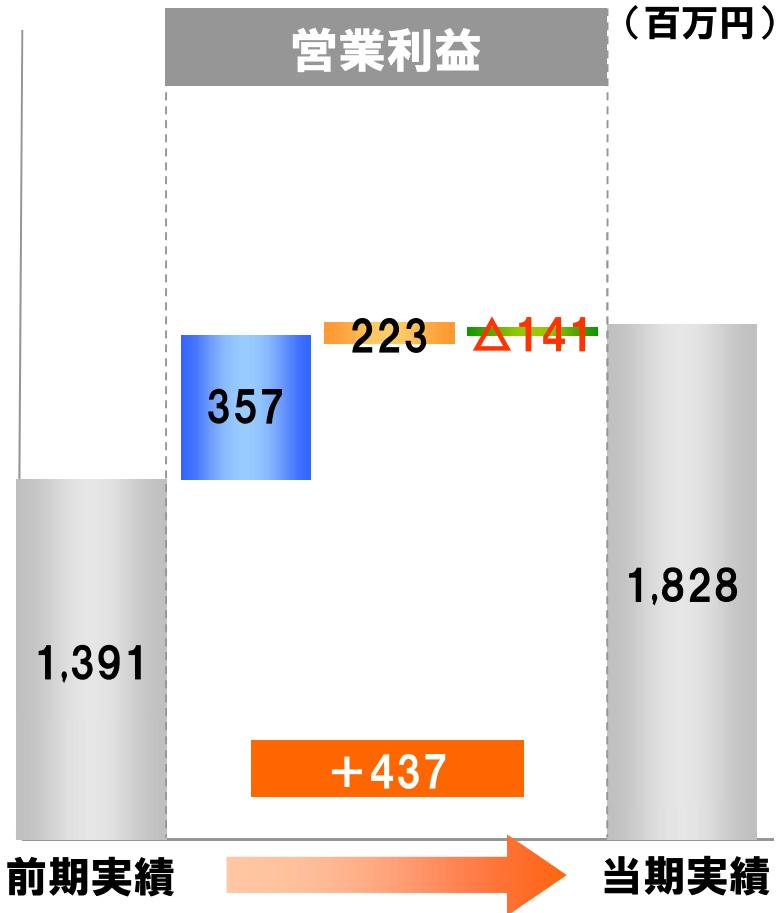
セグメント		2011/3期	2012/3期	前期比	2Q時 修正計画
装置事業	受注高	24, 557	25, 551	4. 0%	25, 200
	売上高	23, 529	25, 889	10. 0%	25, 300
	営業利益	1, 202	1, 559	29. 7%	1, 050
サービス事業	受注高	5, 320	5, 320	-%	5, 500
	売上高	5, 027	5, 301	5. 4%	5, 400
	営業利益	263	486	84. 6%	450
その他事業	受注高	1, 170	952	△18. 6%	1, 000
	売上高	1, 158	845	△27. 0%	1, 000
	営業利益	△77	△218	-%	△200
連結消去	受注高	△124	△132	-	△200
	売上高	△125	△130	-	△200
	営業利益	1	0	-	0
計	受注高	30, 924	31, 692	2. 5%	31, 500
	売上高	29, 589	31, 906	7. 8%	31, 500
	営業利益	1, 391	1, 828	31.4%	1, 300

当期実績と前期実績の差異分析

■ 装置事業
■ サービス事業
■ その他事業



■ 装置事業の環境試験器が大幅に増加
サービス事業では受託試験が伸長



■ 固定費は増加したが、
增收と原価率改善により大幅に改善

装置事業セグメント

環境試験器

- 国内市場においては、電池関連やスマートフォン関連などの好調市場を中心に研究開発用途の恒温恒湿器などの受注が増加
- 海外市場においても、中国関係会社の好調な受注が継続するとともに、タイの洪水による装置の入れ替えなどの特殊要因も

エナジーデバイス装置

- 子会社のエスペックテクノ株式会社において、二次電池検査装置などが堅調に推移
- エスペック本体で取組む二次電池製造装置の引合いが、第3四半期から増加し受注・売上に繋がるも、計画を下回る

半導体関連装置

- スマートフォン向け半導体の増産などにより半導体メーカー向けのバーンイン装置や評価システムの受注が堅調に推移し、売上高は前期比で増加

FPD関連装置

- 台湾や国内のメーカー向け小型液晶パネル用のクリーンオーブンを受注し、受注高は前期比で大幅増加
- 売上高は、受注案件の一部を次期に売上計上予定ため、前期比で減少

装置事業セグメント

(百万円)

	2011／3期	2012／3期	2Q時 修正計画	
			前期比	
受注高	24, 557	25, 551	4. 0%	25, 200
売上高	23, 529	25, 889	10. 0%	25, 300
営業利益 [利益率 (%)]	1, 202 [5. 1%]	1, 559 [6. 0%]	29. 7%	1, 050 [4. 2%]

サービス事業セグメント

(百万円)

	2011／3期	2012／3期	2Q時 修正計画	
			前期比	
受注高	5, 320	5, 320	0. 0%	5, 500
売上高	5, 027	5, 301	5. 4%	5, 400
営業利益 [利益率 (%)]	263 [5. 2%]	486 [9. 2%]	84. 6%	450 [8. 3%]

アフターサービス・エンジニアリング

- 震災の影響があったが、受注高は前期と同水準を確保、売上高は前期比で増加

受託試験・レンタル

- 主要顧客である自動車関連メーカーからの受注が堅調に推移し、受注高・売上高ともに前期比で増加

その他事業セグメント

(百万円)

	2011／3期	2012／3期		2Q時 修正計画
			前期比	
受注高	1,170	952	△18.6%	1,000
売上高	1,158	845	△27.0%	1,000
営業利益 [利益率(%)]	△77 [-%]	△218 [-%]	-%	△200 [-%]

環境エンジニアリング・植物工場

- 環境エンジニアリング事業、植物工場事業とともに、震災の影響による官公庁や顧客企業の予算凍結などで低調に推移

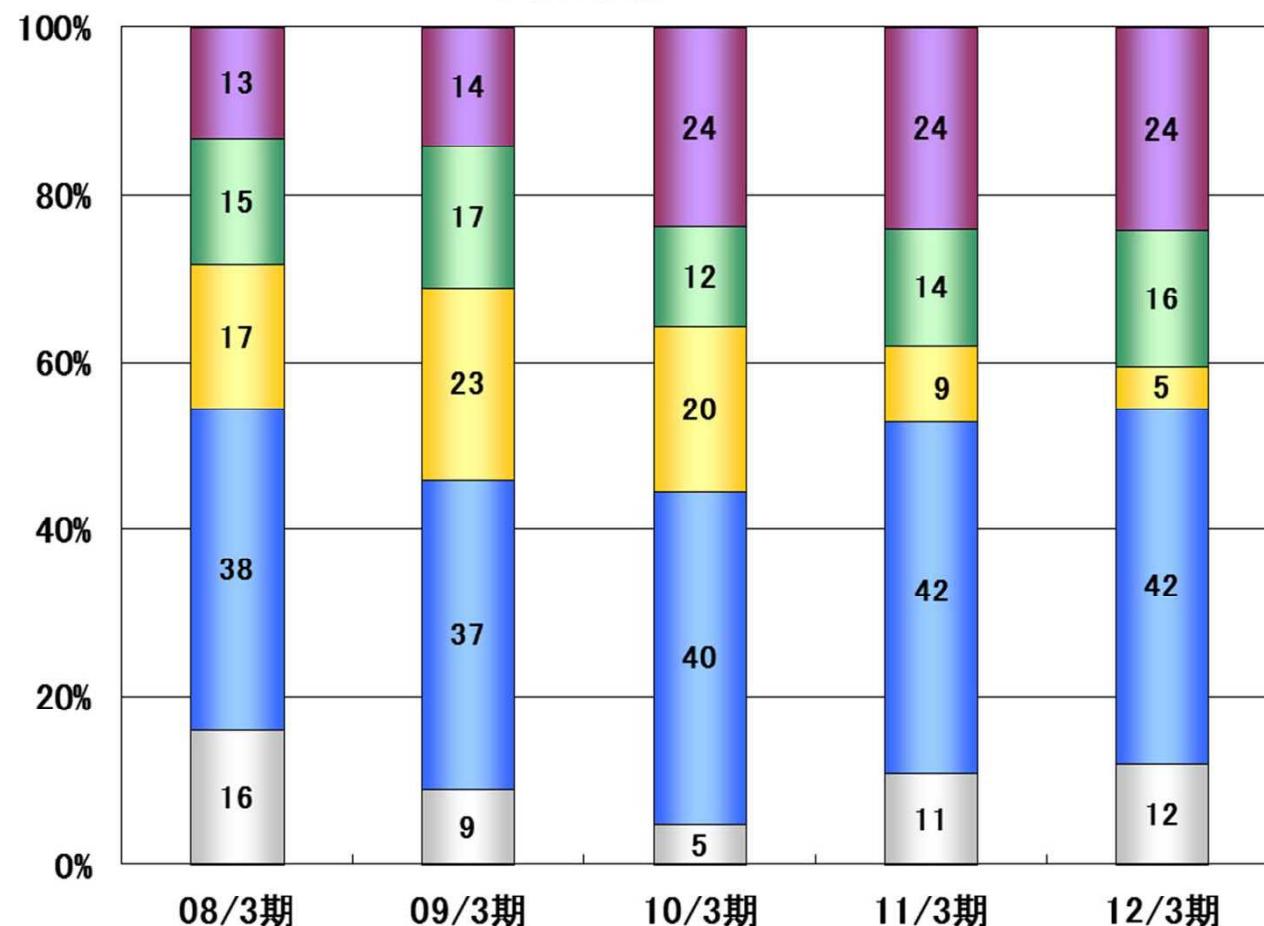
今後へ繋がる取り組み

- 東北地方の「いのちを守る森の防潮堤」への支援や植物工場のロシア展開といった活動に注力

市場別売上構成比

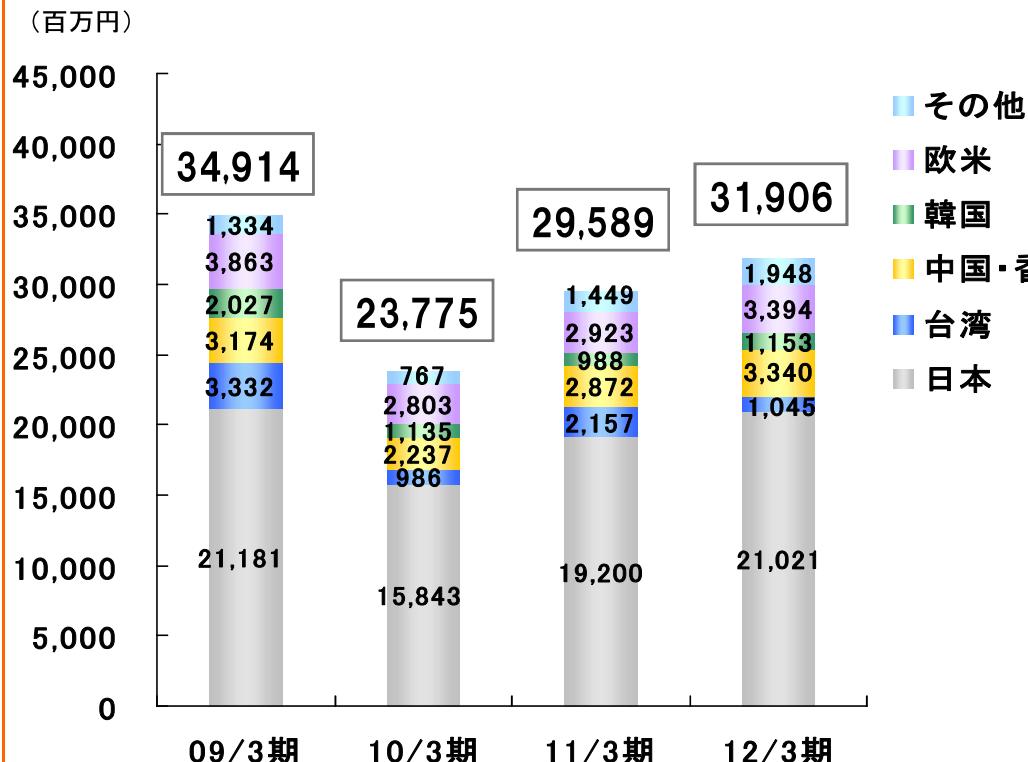
単体

- その他市場
- 自動車市場
- フラットパネルディスプレイ市場
- 電子部品・電子機器市場
- 半導体市場



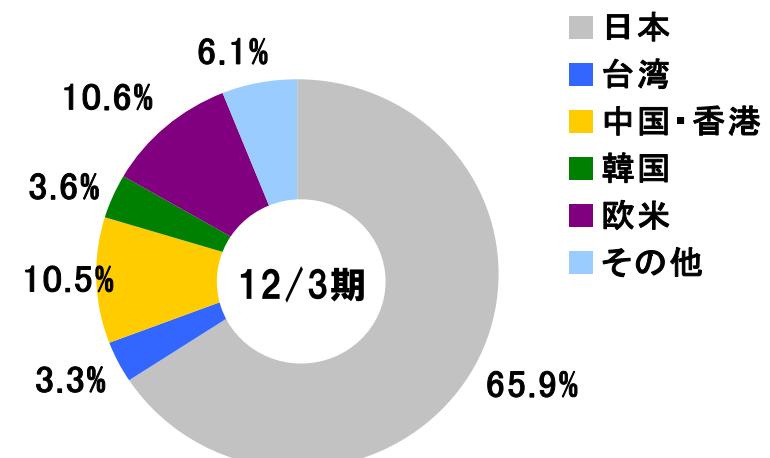
地域別売上高

地域別売上高



地域別売上高構成比

海外売上高比率:34.1%



売上高 前期比

	日本	台湾	中国・香港	韓国	欧米	その他
2012/3期	109.5%	48.4%	116.3%	116.7%	116.1%	134.9%
2011/3期	121.2%	218.8%	128.4%	87.0%	104.3%	188.9%



2013年3月期 通期計画

エスペック中期経営計画 「プログレッシブ プラン2013」
～ 2年目 ～



連結業績目標

項目	2012年/3月期 実績	2013年/3月期 目標	2014年/3月期 目標
売上高	319億円	350億円以上	400億円以上
営業利益	18億円	25億円以上	32億円以上
営業利益率	5. 7%	7%以上	8%以上

2013年3月期 経営方針

基本方針

『“強い商品づくり”と“強い工場づくり”』

方針1

グリーンテクノロジー市場での成長加速

方針2

中国・アジアを中心とした海外事業拡大

経営資源の投入

方針3

国内市場の深耕による収益力の強化

方針4

「機能改革」と「プロセス改革」による経営と事業活動のスピードアップ

方針5

時代に適した「マネジメント」と「制度改革」による
プロフェッショナルな人材の育成と達成感・やりがいの醸成

方針1 グリーンテクノロジー市場での成長加速

背景

「グリーンテクノロジー市場(二次電池、パワー半導体、太陽電池などに関連する市場)」では、EV(電気自動車)やPHEV(プラグインハイブリッド自動車)の今後の普及に向け、環境試験ニーズが拡大する。

グリーンテクノロジー市場向け製品

エナジーデバイス装置

<開発・評価用>
【充放電サイクル評価装置】
(アドバンスト・バッテリーテスター)



<開発・評価用>
【パワーサイクル試験装置】



<生産・検査用>

【二次電池電極乾燥装置】



環境試験器

<開発・評価用>
【大型冷熱衝撃装置】



方針1 グリーンテクノロジー市場での成長加速

2013年3月期 計画

単体 グリーンテクノロジー市場 売上高 45億円（前期比17億円増）

重点施策

- 新たに設置した二次電池向け専用装置の事業部で、エナジーデバイス装置の開発を進める。
- EV用二次電池、パワー半導体用のエナジーデバイス装置を拡販する(10億円)
- 『カスタマイズ対応力の強化』によって環境試験器を拡販する(35億円)

<ターゲット国・地域>

- ① 日本
- ② 韓国

<ターゲット顧客>

- ① EV(電気自動車)用二次電池
HEV(ハイブリッド自動車)用二次電池
PHEV(プラグインハイブリッド自動車)用二次電池
- ② パワー半導体



方針2 中国・アジアを中心とした海外事業拡大

背景

中国を含むアジアでは、世界各国からさまざまな産業が集積し、環境試験ニーズはますます多様化し増加する。

中国・アジアの生産拠点

【韓国エスペック】



【上海エスペック】



LCD製造装置に加え、環境試験器も生産する



【現生産品:LCD製造装置】

現ラインナップに加え、冷熱衝撃装置も生産する



【冷熱衝撃装置も生産】

〔 恒温(恒湿)室、恒温(恒湿)器
オープn 〕

方針2 中国・アジアを中心とした海外事業拡大

2013年3月期 計画

連結 海外売上高 120億円（前期比11億円増）

重点施策

- グリーンテクノロジー市場向けの専用装置を拡販する
- 海外のニーズに対応した輸出専用モデルを開発し拡販する
- 海外での生産を前提として日本で開発した製品の現地生産を開始する
- グローバル展開する顧客に対し、国内外の販売・サービス機能の連携を深める

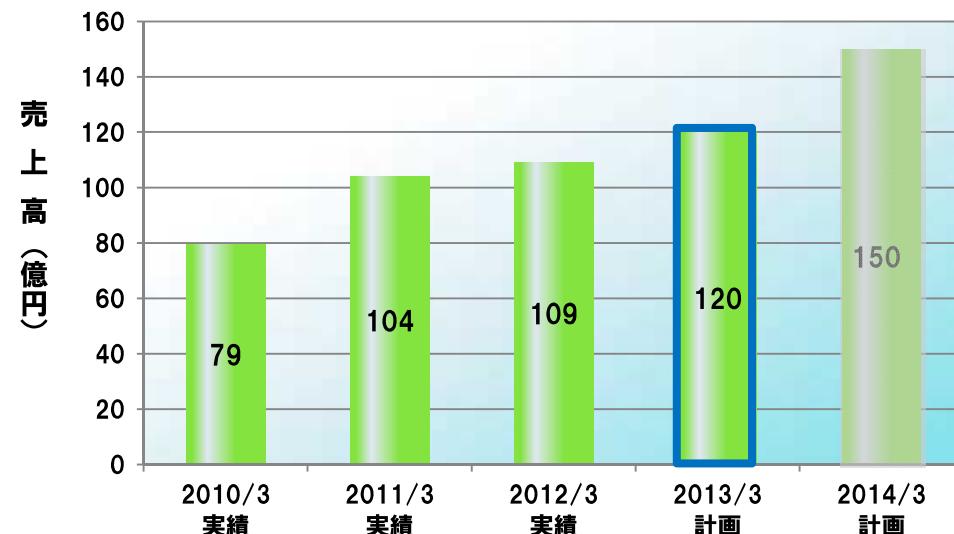
<ターゲット国・地域>

中国、韓国、台湾、タイ

<ターゲット顧客>

- ① 中国・アジアの日系企業
- ② グローバルカスタマー
- ③ グリーンテクノロジー市場に関わる企業
- ④ カーエレクトロニクス

<連結 海外売上高推移>



方針3 国内市場の深耕による収益力の強化

背景

日本市場には巨大な買い替え需要が存在する。

また、今夏の電力危機による設備投資抑制の懸念はあるが、省エネ製品へのニーズの拡大は、当社にとってプラス要因。

電力危機
への対応

省エネルギー

魅力の向上

主力3製品をモデルチェンジしフルラインナップ。従来比で最大70%の省エネを実現。



[恒温恒湿器
プラチナ Jシリーズ]



[冷熱衝撃装置
TSAシリーズ]



[恒温恒温室
ビルトインチャンバー Eシリーズ]

方針3 国内市場の深耕による収益力の強化

2013年3月期 計画

連結 国内売上高 230億円（前期比20億円増）

重点施策

- 電力危機に対し省エネ新製品を提案し、買い替えを促進する
- グリーンテクノロジー市場向けの専用装置を拡販する
- 受託試験やアフターサービスなどの新規メニューを開発し、サービス事業を拡大する
- 主力の福知山工場での内製化の拡大により、収益性を向上させる

<ターゲット顧客>

- ① 買い替え需要のある顧客
- ② グリーンテクノロジー市場
(二次電池、太陽電池、パワー半導体など)

<連結 国内売上高推移>



2013年3月期 通期計画

(百万円)

	2012/3期 実績		2013/3期 計画			
	第2Q累計	通期	第2Q累計		通期	
				前年同期比		前期比
受注高	16,303	31,692	17,300	6.1%	35,500	12.0%
売上高	14,306	31,906	15,500	8.3%	35,000	9.7%
売上総利益 [利益率(%)]	4,776 [33.4%]	10,538 [33.0%]	5,115 [33.0%]	7.1%	11,550 [33.0%]	9.6%
営業利益 [利益率(%)]	569 [4.0%]	1,828 [5.7%]	900 [5.8%]	58.1%	2,500 [7.1%]	36.7%
経常利益 [利益率(%)]	636 [4.4%]	2,076 [6.5%]	1,000 [6.5%]	57.2%	2,700 [7.7%]	30.0%
当期純利益 [利益率(%)]	521 [3.6%]	1,929 [6.0%]	700 [4.5%]	34.3%	2,000 [5.7%]	3.6%
設備投資額	343	654	550	90.7%	1,000	52.9%
減価償却費	347	731	250	110.7%	550	△24.8%
研究開発費	713	1,358	650	90.5%	1,300	△4.3%
1株当たり純利益(円)	22.22	82.31	30.09	35.4%	85.98	4.5%

装置事業セグメント

(百万円)

	2012/3期 実績		2013/3期 計画			
	第2Q累計	通期	第2Q累計		通期	
				前年同期比		
受注高	13, 393	25, 551	13, 700	2. 3%	28, 000	9. 6%
売上高	11, 585	25, 889	12, 600	8. 8%	28, 000	8. 2%
営業利益 [利益率(%)]	513 [4. 4%]	1, 559 [6. 0%]	700 [5. 6%]	36. 2%	1, 900 [6. 8%]	21. 9%

サービス事業セグメント

(百万円)

	2012/3期 実績		2013/3期 計画			
	第2Q累計	通期	第2Q累計	通期		
				前年同期比	前期比	
受注高	2, 699	5, 320	2, 800	3. 7%	5, 800	9. 0%
売上高	2, 486	5, 301	2, 500	0. 5%	5, 600	5. 6%
営業利益 [利益率(%)]	198 [8. 0%]	486 [9. 2%]	300 [12. 0%]	50. 9%	700 [12. 5%]	43. 8%

その他事業セグメント

(百万円)

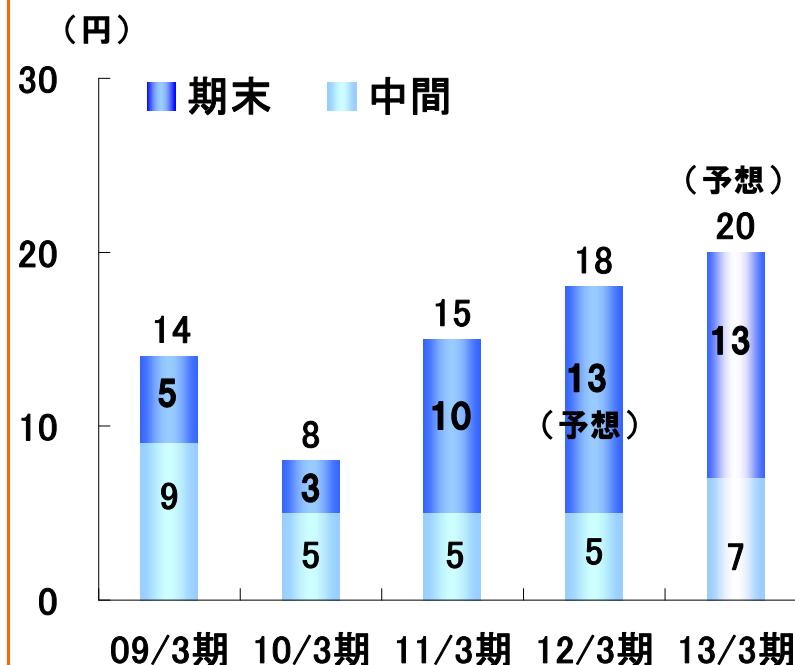
	2012/3期 実績		2013/3期 計画			
	第2Q累計	通期	第2Q累計		通期	
			前年同期比			前期比
受注高	273	952	850	210. 2%	1, 800	88. 9%
売上高	290	845	450	55. 2%	1, 500	77. 3%
営業利益 [利益率 (%)]	△143 [- %]	△218 [- %]	△100 [- %]	0 -%	△100 [- %]	—%

配当政策

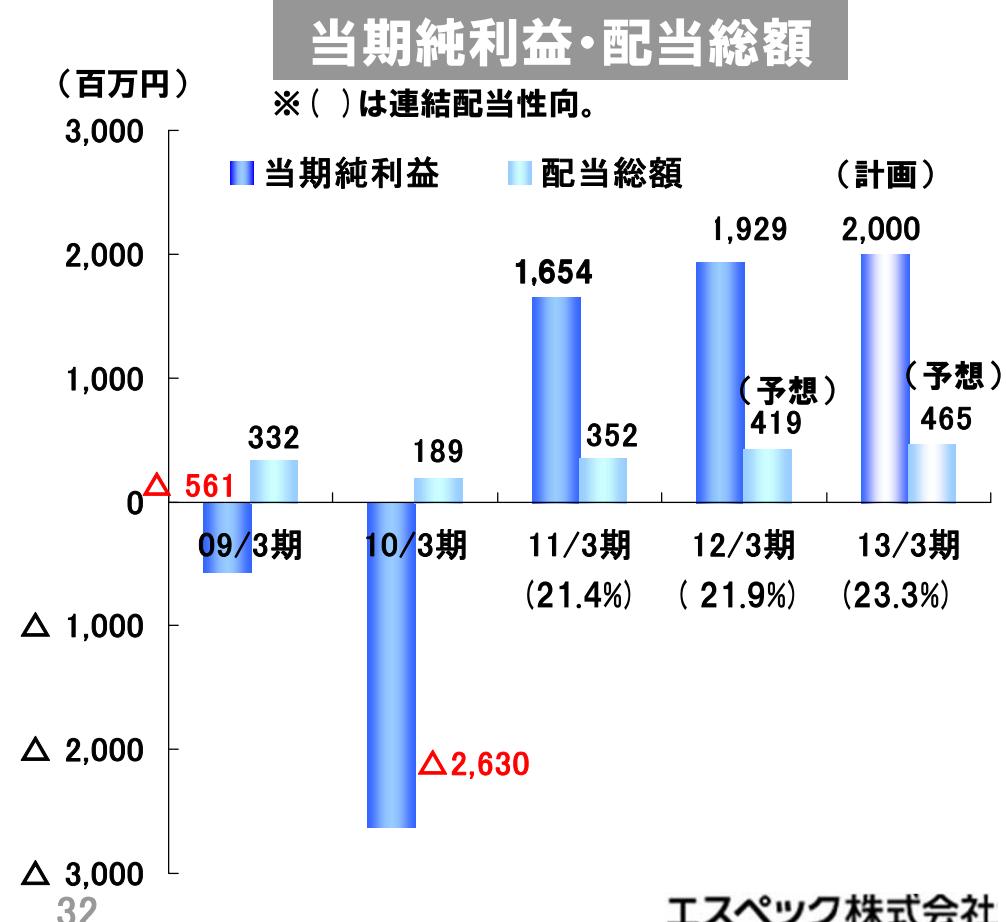
配当方針

株主のみなさまへの利益還元を経営の重要課題の一つと認識するとともに、永続的な企業価値の向上が株主価値向上の基本と考え、配当は継続性と配当性向を勘案して決定

一株当たり配当金



当期純利益・配当総額



Quality is more than a word



グリーンイノベーションを
絶好のビジネスチャンスととらえ、
“攻めの経営”に徹する！



この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。
それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、
当社が計画・予測したものであります。
実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは
異なる場合があり、この資料はその実現を確約したり、保証するものでは
ございません。

【お問合せ先】

エスペック株式会社

〒530-8550 大阪市北区天神橋3-5-6

TEL 06-6358-8820 FAX 06-6358-5500

e-mail ir-div@espec.co.jp

管理本部長 兼 総務人事部長 大島 敬二

総務人事部 総務グループ 平尾 洋



参考資料

会社概要

会 社 名	エスペック 株式会社
本社住所	大阪市 北区 天神橋 3-5-6
代 表 者	石田 雅昭 (いしだ まさあき)
創業年月日	昭和22年7月25日
設立年月日	昭和29年1月13日
資 本 金	6,895百万円
発行済株式総数	23,781,394株
従業員数	1,339名(連結)
主要業務	環境試験機器、エナジーデバイス・半導体・FPD関連装置、植物工場の製造・販売、アフターサービス、受託試験など



【本社】

(2012年3月31日現在)

グローバルネットワーク



【装置事業】環境試験の沿革

環境試験とは

電子部品などのさまざまな工業製品について、温度、湿度、圧力、振動などの環境因子による影響を分析・評価し、製品の品質を確保するための試験

<太平洋戦争時>

軍事品の品質安定・信頼性向上を目的に、米国で環境試験が規格化



<戦後>

民生品の品質安定・信頼性向上を目的に、日本で環境試験がJIS規格化



<現在>

電子部品の増加、開発期間の短縮、低コストや高品質の追求により、環境試験の需要が拡大

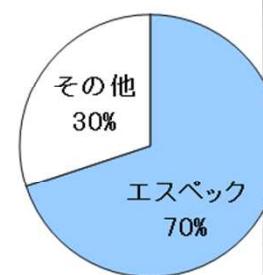


日本初の環境試験器を開発



【 1961年 低温恒温恒湿器 ルシファー 】

国内シェア No.1に

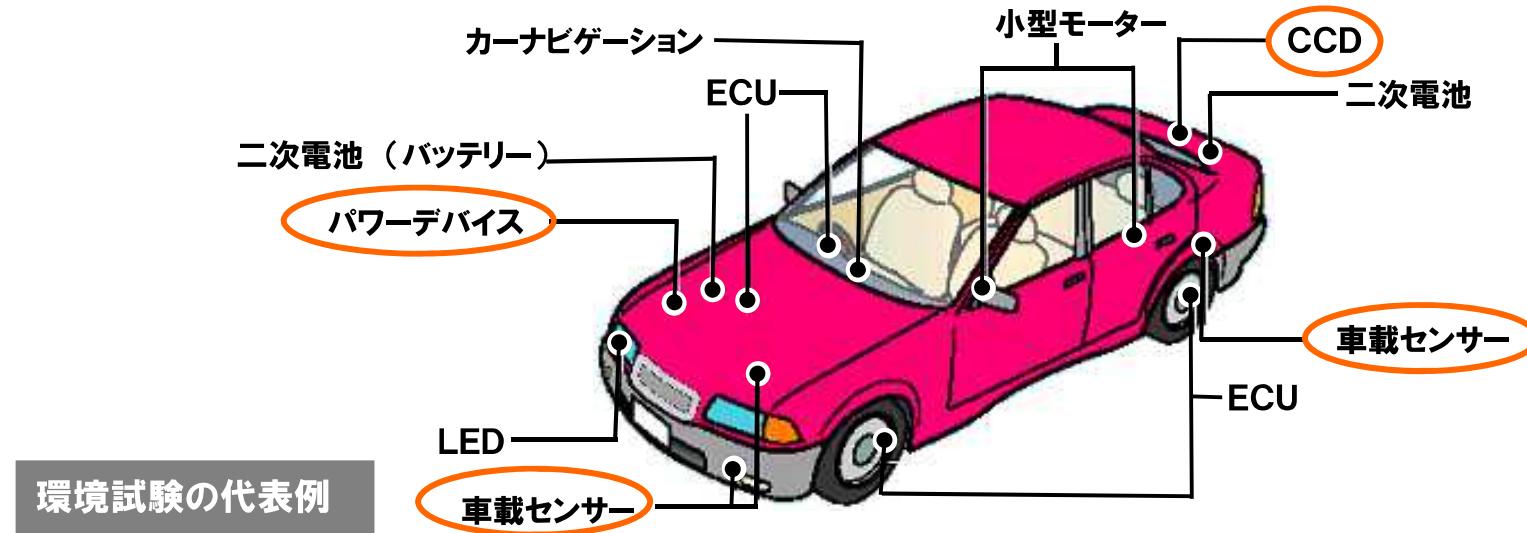


※2010年度当社推定



【 恒温恒湿器 プラチナスJシリーズ 】

【装置事業】環境試験器の用途事例



デバイス	プロセス／試験条件		当社製品
【パワーデバイス】 	検査	■冷熱衝撃試験: $-40^{\circ}\text{C} \leftrightarrow +125^{\circ}\text{C}$	冷熱衝撃装置
		■高温放置: $+175^{\circ}\text{C}, +85^{\circ}\text{C}$	(小型)オープン
		■バーンイン試験	バーンイン装置
【車載センサー】 	検査	■基板の温度サイクル試験: $-40^{\circ}\text{C} \leftrightarrow +110^{\circ}\text{C}$	低温恒温器(プラチナス)/オープン
		■はんだ付け後の温度特性試験: $-30^{\circ}\text{C} \Rightarrow +85^{\circ}\text{C}$ をリニア変化	バーンイン装置・急速温度変化チャンバー
	評価	■冷熱衝撃試験: $-30^{\circ}\text{C} \leftrightarrow \text{RT} \leftrightarrow +80^{\circ}\text{C}, -55^{\circ}\text{C} \leftrightarrow +155^{\circ}\text{C}$	冷熱衝撃装置
【CCD/CMOS】 	生産	■拡散試験: $+150^{\circ}\text{C}$	小型オープン
		■洗浄後の乾燥: $+85^{\circ}\text{C}$	クリーンオープン
	評価	■スクリーニング: $+85^{\circ}\text{C}$	恒温器(プラチナス)/バーンイン装置
	検査	■温湿度試験: $+85^{\circ}\text{C} / +85\% \text{rh}, +60^{\circ}\text{C} / 90\% \text{rh}$	恒温恒湿器(プラチナス)
		■加速試験: $+120^{\circ}\text{C} / 100\% \text{rh}$	HASTチャンバー
		■冷熱衝撃試験: $-40^{\circ}\text{C} \leftrightarrow +125^{\circ}\text{C}, -20^{\circ}\text{C} \leftrightarrow +85^{\circ}\text{C}$	冷熱衝撃装置

【装置事業】エナジーデバイス装置の用途事例

エナジーデバイス装置

二次電池や太陽電池、パワー半導体など蓄電・発電・電力制御を行うデバイスを「エナジーデバイス」ととらえ、それらの開発・評価装置や生産・検査装置を提供

<装置事例>

■ LIB電極乾燥装置

リチウムイオン二次電池の生産工程において、溶剤乾燥と水分除去を行う装置



■ アドバンスト・バッテリーテスター

二次電池の評価工程において、充放電試験を行う装置

3槽個別制御のチャンバーにより同時に様々な試験が可能



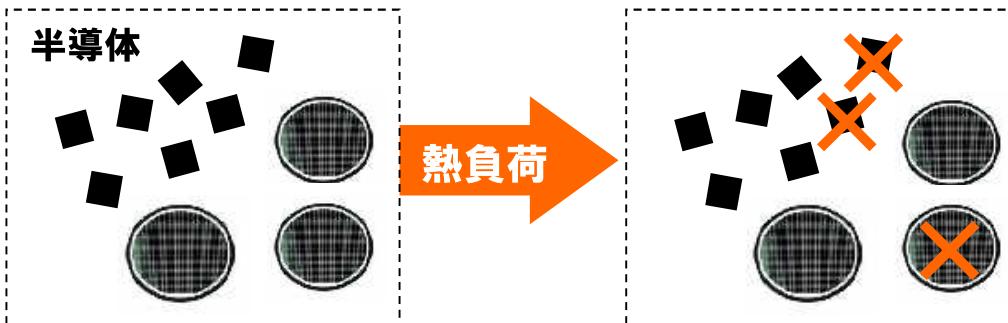
【装置事業】半導体関連装置の用途事例

スクリーニング

半導体デバイス製造の検査工程において、量産化に向けた製品信頼性を確保



バーンインチャンバー



潜在的な初期故障を除去

信頼性評価

新しい技術開発において、信頼性確保に向けた基本的な故障形態を評価



導体抵抗評価システム



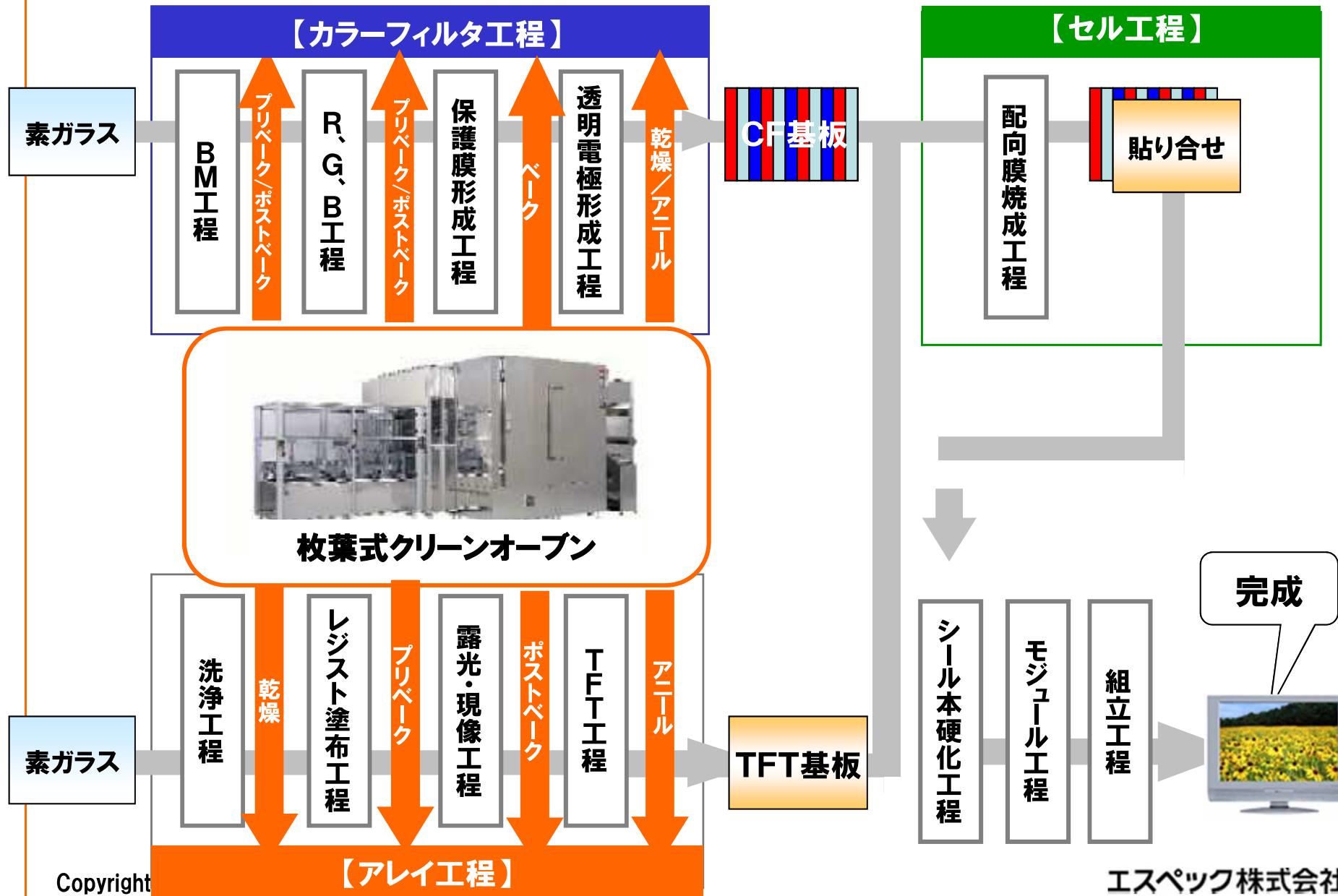
電子部品の接合部分の信頼性を電気的に評価

熱サイクル負荷



はんだ接合部分の不良例

【装置事業】FPD関連装置の用途事例



【サービス事業】

アフターサービス・エンジニアリング

製品の予防保全、メンテナンスサービス、製品の改善・改良、設置・移設など

- 国内外の充実したネットワーク
- 24時間フルタイムの技術対応サービス

受託試験・レンタル

受託試験・分析・評価、コンサルティング、製品レンタル、中古製品の販売、試験器校正など

- 全国4箇所に受託試験所を設置（宇都宮・豊田・刈谷・神戸）
 - ・ ISO/IEC17025に基づくIECQ独立試験所として認定
 - ・ 計量法校正事業者認定制度 (JCSS) に基づく校正機関として認定



【受託試験所内風景(神戸)】



【受託試験 作業風景】

【その他事業】環境エンジニアリング

環境エンジニアリング

■ 森づくり

潜在自然植生データによる樹種選定、幼苗植栽手法を用いた郷土の森づくり



■ 水辺づくり

水生植物を活用した、自然環境復元、植生護岸の形成、水質浄化



■ 都市緑化

ヒートアイランド現象の緩和に効果的な苔による屋上・壁面緑化システム

エスペックミックの「チガヤマット（張芝タイプ）」が
エコプロダクツ大賞推進協議会主催の第8回エコプロダクツ大賞※
審査委員長特別賞（奨励賞）を受賞！

※2004年、環境負荷の低減に配慮した製品・サービス（エコプロダクツ）に関する情報を広く伝えるとともにエコプロダクツのさらなる普及を図ることを目的として創設



【その他事業】 植物工場事業

植物工場事業

植物の育成に必要な光・温湿度・養分などを最適にコントロールして植物を育てる植物研究・育成システムおよび装置

<装置事例>

■コンテナ式植物工場

コンテナ内に人工光源や空調設備などをユニット化して装備した輸送・設置が容易なコンテナ式



■ファイトロン

アグリガラスを採用した自然光型環境調整装置



■プラントセラー

飲食店など設置スペースに合わせてサイズが選べるコンパクトな野菜育成装置

